



平成 21 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 STEILAR C.K.M 株式会社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 橋 本 勝 司

(コード番号 2673)

問 合 せ 先 取 締 役 加 藤 和 弘

電 話 03-5369-7831

特別損失の発生並びに平成 21 年 3 月期通期（連結・個別）業績予想 の修正に関するお知らせ

1. 平成 20 年 11 月 12 日付の「特別損失の発生並びに平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間および通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4, 9 0 7	△ 1 5	△ 3 5	△ 1 3 1
今 回 修 正 予 想 (B)	4, 6 8 8	△ 1 2 8	△ 1 5 5	△ 4 4 7
増 減 額 (B - A)	△ 2 1 9	△ 1 1 3	△ 1 2 0	△ 3 1 6
増 減 率 (%)	△ 4. 5	—	—	—
前 期 実 績 (平 成 2 0 年 3 月 期)	6, 8 6 6	△ 8	3 2	△ 1 5 7

(注) 連結対象会社は、株式会社ホット・コミュニケーション (62.5%子会社)、株式会社アンププロモーション (100%子会社)、株式会社 S・R プロモーション (100%子会社)、株式会社夢隊ファクトリー (100%子会社)、ライフステージ株式会社 (100%子会社)、株式会社ソシオ (100%子会社) 及び匿名組合 1 組合であります。

通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4, 5 1 7	△ 3 5	△ 3 5	△ 1 2 7
今 回 修 正 予 想 (B)	4, 3 0 1	△ 1 1 0	△ 1 2 3	△ 4 4 2
増 減 額 (B - A)	△ 2 1 6	△ 7 5	△ 8 8	△ 3 1 5
増 減 率 (%)	△ 4. 8	—	—	—
前 期 実 績 (平 成 2 0 年 3 月 期)	6, 5 0 0	2	4 0	△ 6 6

修正の理由

- (1) 個別業績につきましては、通販小売事業において、期初より販売促進費の減少による利益率の上昇を図りました。利益体質への転換は徐々に進み、前年同期に比べ販売促進費のカットを実現したものの、当初の予想を達成するに十分な成果をあげるまでには至らず、また、近時の金融市場の混乱や景気の後退感など市場環境の急速な悪化から、売上高が当初の予想を下回ったことから営業利益、経常利益の減少となりました。当期純利益につきましては、上記の要因に加え、特別損失を計上したことによるものであります。
- (2) 連結業績につきましては、前述のとおり通販小売事業の売上高、営業利益の減少及び特別損失の計上が大きく影響していることが要因であります。

2. 特別損失の計上について

- (1) 平成 21 年 3 月期において以下の 290 百万円の特別損失を計上いたします。主な内訳は以下のとおりです。
 - ① 投資有価証券評価損 62 百万円
当社が保有する投資有価証券のうち、主に非上場株式と投資信託に係る評価損であります。
 - ② 投資有価証券売却損 28 百万円
当社が保有する投資有価証券について経済や市場の状況を考慮し、当社が保有する上場株式及び投資信託を売却したことによるものであります。
 - ③ 固定資産除却損 20 百万円
機械及び装置の除却によるものであります。
 - ④ 減損損失 81 百万円
旧本社で使用していたが移転後の新本社で使用することができない資産及び使用計画の確定していない遊休資産（温泉権とその土地）について、減損損失を計上したものであります。
 - ⑤ 本社移転費用 60 百万円
当社は平成 21 年 2 月 1 日付をもって従前の東京都新宿区西新宿一丁目 26 番 2 号から東京都新宿区愛住町 13 番地 10 へ本店移転をしており、これに係る費用であります。

以上